



## とうきょう なん つく 東京タワーはだれが何のために作ったの

### とうきょうちいき でんば はっしんちゅうけいきち 東京地域の電波の発信中継基地

とうきょう にほんでんぱとう ねん しょうわ ねん がつ かんせい たか  
東京タワー（日本電波塔）は、1958年（昭和33年）12月に完成しました。高さ  
333メートルで、パリのエッフェル塔より11メートル高く、東京の新名所となりました。  
けんちくこうぞうがくしゃ ないとうたなかし せつけい とうじ そうこうひ おくえん  
た。建築構造学者・内藤多仲氏の設計で、当時の総工費は28億円でした。

とうきょう もくてき とうきょうちいき でんばはっしんちゅうけいきち  
この東京タワーの目的は、東京地域の電波発信中継基地とすることでした。つまり、テ  
レビやラジオの電波を送ったり受けたりすることです。この電波はタワーを中心に、半径  
やく 100キロのところまで届きます。そのため、多くのテレビ局のテレビアンテナが、数  
おお と  
多く取りつけられています。

### こうつうじょうほう おく きしょうかんそく 交通情報を送ったり、気象観測をしたり

チェイアル つうしんれんらくでんぱ ちゅうけいちてん やくめ こうつうじょうほう おく やくめ  
このほか、JRの通信連絡電波の中継地点としての役目、交通情報を送る役目などもは  
たしていますし、ふうこうふうそくけい こうどおんどけい たいきおせんそくていそうち き  
風向風速計や高度温度計や大気汚染測定装置がとりつけられるなど、気  
しょうかんそく たいきおせん かんそく やくだ あつ  
象観測や、大気汚染の観測に役立つデータを、集めることができます。になっています。

とうきょう けんがくしゃ たか きゅうそくじょ ばいてん  
東京タワーには見学者のために、高さ150メートルのところに、休息所や売店のある  
だいてんぼうだい とくへつてんぼうだい とうきょう  
大展望台があり、さらに、250メートルのところに特別展望台があるほか、東京タワ  
ーの下にある5階建てのビルには、レストラン、みやげもの店、水族館、ろう人形館など  
し た かいだ てん すいぞくかん にんぎょうかん  
があります。（監修・保岡 孝之）

